

8月9日(火)

記念として行いなさい

聖書朗読 ルカ22:7~23

この杯は、わたしの血による新しい契約です。飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。
1コリント11:25

あなたにとって、一番心に残っている思い出は何でしょうか。誕生会、結婚記念日、結婚式、旅行などでしょうか。いい思い出もあるでしょうし、悪い思い出もあるでしょう。

私が父を思い出すとき、父は冗談が好きだったということです。ある時、忘れっぽい人の話をしてくれました。ある人が2階に行きました。でも、なぜ2階に行ったのかを忘れてました。それで、1階に降りて行きました。今度は、なぜ1階に降りたのかを忘れてました。ここで困ったことが起こりました。それは、1階に行こうとしたのか2階に行こうとしたのかを忘れてしまったということです。そういう話でした。何と私も同じ経験をしたことがあるとここに告白します。思い出は私たちの生活を豊かにしてくれます。

ところで、私は教会でのある出来事がとても心に残っています。数年前、私の教会では日曜日の主の食卓の時間になると照明を少し落としていました。その暗さはある種の雰囲気を生み出し、礼拝堂は非常に静かになりました。その時のことは忘れることができません。

礼拝の中の主の食卓は、思い出す時間です。私たちは主の死を記念し、主の再臨されることを待ち望みます。敬虔な気持ちで主が私にしてくださったことを思い出し、神様への希望を持つ特別な時間です。

愛しい主の食卓、それは何物にも代え難いもの
あなたの私への驚くべき愛
食卓に預かる時、イエス様は優しく囁く
「記念のためにこれを行いなさい。」と

ティレット・S・テッドリー

讃美歌 136

祈り 親愛なる神様。私たちのために払ってくださったあなた様の愛の犠牲を私たちが忘れないようにしてください。

イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

キャサ・ウインサー

8月10日(水)

批判を祝福する

聖書朗読 ルカ23:32~43

ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。
1ペテロ 2:23

批判をしてくださり、感謝します！そうなんです。時として、批判は必要なんです。私たちは間違っただけをしようとするときもありますし、知らないうちに誰かの迷惑になることをしているときもあります。ですから、批判は「気づき」の手段です。ダビデ王でさえそれを知っていました。「誰が自分の過ちを悟ることができるでしょう。」(詩篇9:12)ですから、ダビデは批判を喜んで受けとめました。「正しい者が、愛情をもって私を打ち、私を戒めますように。」(詩篇141:5)

もちろん中には助けにならない、意地悪で不親切で建設的でない批判もあります。イエス様を思い出しましょう。イエス様はさげすまれました。「ナザレから何か良いものが出るだろうか。」(ヨハネ1:46)また、軽んじられました。「あれは、ヨセフの子で、われわれは、その父も母も知っている。」(ヨハネ6:42)

イエス様が十字架につけられていた時、「道を行く人々は、頭を振りながらイエスをののしって」(マタイ27:39)と書いてあります。その時でさえ、イエス様は祈りました。「父よ、彼らをお赦しください。」(ルカ23:24)意味がよくわかっていない批判とそれを受け止めたところに注目してください。正しくない理由であなたを批判する人のために祈ってください。

讃美歌 515

祈り 私たちの愛なる、赦しの父よ。私たちの罪を赦すためにあなたのひとり子を送ってくださり、愛と赦しの見本を見せてくださってありがとうございます。
イエス様のお名前によって。アーメン。

ビル・ジメネズ

8月11日(木)

再起動

聖書朗読 ヨハネ3:1~8

昔の人々に、「人を殺してはならない。人を殺す者は裁きを受けなければならない」と言われたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。
マタイ5:21

ニコデモは、成功者でした。ランクの高いパリサイ人であったニコデモはイエス様の教えに困惑していました。ニコデモはイエス様の言動を目にしていたので、イエス様が神様から遣わされた方だと分かっていた。ニコデモが質問する前に、イエス様は彼がどんな質問をするのかご存知でした。「ニコデモ、私の生きる人生を見つけないのなら、再スタートする必要があります。——もう一度生まれなければなりません。」ニコデモは自分が宗教的に成し遂げたこと、肉体的なことに頼っていたのです。神の国の生活は天からのものです。水と霊による誕生が合図になります。最近の言い方をするなら、霊に導いていただきながら今まで自慢に思っていた成功を捨てて、自分の人生を「再起動」させる指令が送れたのです。

ほとんどのイエス様の教えは、とても難しいものです。ですから、ニコデモのように困惑してしまいます。あなたの敵を愛しなさい、一番小さいものに仕えなさい、隣人に対して悪を行ってははいけません、自分を制しなさい、誰のことも赦しなさい、まだまだ続きます。この教えに沿って生きていますか。もし違うなら、「再起動」する必要があります。新しくスタートさせるのです。

神の王国の大きな喜びの一つは、新しいスタートは決心すればいつでもできるということです。神の霊の助けによってこの世のプライドを捨て、神様の王国に預かる自分たちの新しい誕生を受け入れることができますように。

讃美歌 II 167

祈り 親愛なる神様。自分が実際以上にできると思うことをゆるしてください。毎日の生活のどんな時でも、イエス様の教えを学び、信じ、生きることができるよう。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アール・ラベンダー

8月12日(金)

神と共にある生活(ライフ)?

聖書朗読 ヨハネ3:16

この方は、初めに神とともにおられた。 ヨハネ1:2

ヨハネ3章16節は、新約聖書の中で一番人気のある箇所だと思います。

「神は、実に、そのひとり子をおあたえになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ3:16)。大きな看板に書かれていたり、スポーツイベントの小さなポスターなどにもよく書いてあります。神様の贖いについて書いてある箇所です。しかし、本当のところはどんな意味なのでしょう。

神と共にいる生活とは? 「生活、人生(ライフ)」を表すギリシャ語は一つではありません。『ビオス』という言葉もあり、これは人間の肉体的いのち、すなわち「生命」を表わしています。また、『プシュケ』という言葉もありますが、これは精神的または内面的な心、魂、人間の思いというようなことを意味します。人間誰もが持っているものです。

ヨハネの福音書の第1章では、ヨハネは最初の罪がこの世に入る前にアダムとエバが神とともに生きた生活を『ゾエー(いのち=主の望む生き方)』という言葉で表現しています。ヨハネは、イエスは『ゾエー(いのち=主の望む生き方)』である、信じるもの全てに『ゾエー(いのち=主の望む生き方)』を与えると続けます。ローマ人への手紙6章の中で、パウロはキリストに授かるバプテスマを受ける時の死と葬りと復活を『ゾエー(いのち=本物の生き方)』という同じ言葉で表現しました。ヨハネとパウロは、アダムとエバが罪を犯す前に神と共に生きた人生である『ゾエー(いのち=主の望む生き方)』が、私たちにもキリストを通して与えられているのだと知って欲しかったのです。皆さん、これがイエス様がこの世にもたらしてくださった良き知らせ、福音なのです。

讃美歌 262

祈り 親愛なる神様。あなたと共にある人生を私たちにもたらしてくださったイエス様をありがとうございます。良き知らせが、私たちから世界中にあふれ出ていきますように。

私たちの救い主イエス様のお名前を通して祈りいたします。アーメン。

スタン・カンニングハム

8月13日(土)

確かに主

聖書朗読 ヨハネ6:9~15

ですから、イスラエルの全家は、このことをはっきりと知らなければなりません。神が今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。
使徒2:36

ヨハネの福音書6章でモーセの名前が出るのは32節ですが、実は1節からモーセのことはほのめかされています。イエス様は、過ぎ越しの祭りが間近な時期に山に行かれた後、草のある場所で人々にパンを食べさせました。人々はイエス様を、「私のような一人の預言者をあなたのために起こされる」と申命記18章15から18節で言われていたことゆえに受け入れていました。そこまでは預言のとおりでした。しかし、イエス様は、人々が自分たちの願いを叶えるために、イエス様をユダヤ人の王にしようとするのが分かり退かれてしまいます。

モーセのような預言者が現れると、人々は耳を傾け神に従います。人間は神に自分の願いをかなえて欲しいと願う傾向があります。「イエス様、私たちの敵を打ち負かしてください。私たちの教えの正当性を立証してください。私たちの望む主になってください。」と願いました。しかし、イエス様は私が望むような主としてこの世に来られたわけではありません。ただ、「主」としてこの世にこられたのです。イエス様は神の意思を実現するために来られました。気まぐれな人々の願いを叶えるためでも、気まぐれな教会の願いを叶えるためでもありません。

私たちは行きたい教会に行き、聞きたい説教者の説教を聞き、歌いたい讃美歌を讃美したがる傾向があります。しかし、まずは、真の主であるイエス様をお迎えするという心を持ちましょう。そして、喜んで主が送って下さった教会に行って主を礼拝しましょう。

讃美歌 II159

祈り アバ 父よ。私たちが必要な救い主であられる主を遣わしてくださり、ありがとうございます。私たちが、主を自分で考えるような主にしないようにして下さい。主の霊で満たされ、私たちの心が自分の望むことから神の望むことを行なうようにして下さい。

イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

ティム・ケリー

8月14日(日)

あなた方は、私を誰だと言いますか

聖書朗読 ヨハネ7:25~36

あなたは生ける神の子キリストです。 マタイ16:16

私の家族は、ジグソーパズルが大好きでした。やるのは、千ピース以上のものでした。一万ピースのパズルもやったことがあります。出来上がりの形は、丸であったり四角であったり長四角でした。

ルールが一つだけありました。箱も出来上がりの絵が描いてある紙もクローゼットにしまい、誰もそれを見てはいけないというものです。その絵を見てしまったら失格となり、パズルに参加できません。見本の絵がないので、一つのパズルピースをヒントにしながらくっつけていかなければなりませんでした。

さて、ヨハネの福音書7章のこの男の人は誰でしょう。まるで、先程話したパズルのピースのように分かりづらいのです。エルサレムの人々はバラバラのピースからその人が誰なのか知ろうとしました。彼の言うことはパズルのようでした。「私はその方から出たのであり、その方が私を遣わされた。私は私を遣わされた方の元に行く。私がいるところにあなた方は来ることはできない。」こういうヒントをどうやって合わせていけるでしょう。

しかし、私たちには、大事なことは聖書によって知らされています。そのピースを繋げつつ、しっかりと主に従っていくことが私たちの人生です。時には、隠れているピースにより、間違いを犯してしまうかもしれません。しかし、私たちが主に近づけば近づくほど、主は私たちにはっきりとした道を示して下さい。私たちは、このお方を神の子と信じ、私たちの人生を180度変えてくださるお方にすべてを委ねて歩んで行きたいものです。

聖歌 392

祈り 主よ。信じることは難しいことです。もっとあなたのようにになれるように信じさせてください。理解させてください。私たちが主を信じます。疑ってしまう私たちを助けてください。

イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

グレン・パンバートン